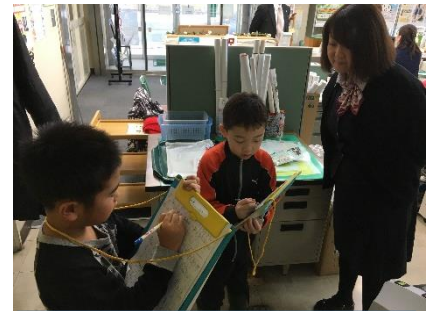


成長の2学期が終了しました ～保護者・地域の皆さまのご協力に感謝します～

長和小学校長 阿部 聖司

12月に入り、冬の寒さがやってきたかと思うと温かさが戻って雨が降ったり、強風に子供たちの登下校が心配される日が多くなったりするなど、寒暖差による体調管理や登下校の安全対策等、天候に振り回される日が多かった学期末でした。

さて、本日で86日間の2学期が終了です。2学期を振り返ると、6年生の修学旅行から始まり、5年生の宿泊研修、マラソン記録会、稲刈り、学芸会、柿っ子祭り・・・、子供たちは、大きな行事を通して、横のつながり（子供同士）と縦のつながり（先生方や保護者、地域の方々）の中で様々な関わりをもち、自分自身のための努力（自らのスキルアップ）、周りと合わせる努力（協調性）、友達や後輩にアドバイスをし、周りの人を育てようとする努力、そして両親や祖父母、親しい人を喜ばせるための努力など、たくさんの努力を通して大きく成長し、その努力を認められることによって大きな自信と次への意欲につながることができました。



2年生お店見学(伊達信金長和出張所)

子供たちの成長は、大きな行事の取組を通して見られることはもちろんですが、そればかりではなく、毎日の授業や児童会活動、休み時間の友達とのかかわりなど、日々の活動の中で少しずつ、でも確実に積み重ねられています。そうした一人一人の成長の足跡が、今学期も「あゆみ」の中に記されています。今学期もぜひ、「あゆみ」を見ながら親子で2学期を振り返り、3学期の



全校遊び・ドッジビーの一幕

目標を話し合っただけだと思います。

ここで、今年度の本校スローガン「一人一人の笑顔が見える、『あ・お・い』学校をめざして」についてですが、今学期は「おもいやり」について振り返ってみます。ある日の中休み、低学年の子が体育館にあった誰かの忘れ物を私のところに届けてくれました。近くで遊んでいる子たちに声をかけ、持ち主を探していたところ、6年生の女子数人がやってきて、手分けをして持ち主探しを手伝ってくれたのです。落とし物の特徴や、前の時間授業をしていた学年などから色々推理して、落とし主の範囲を絞り込み、その結果、持ち主を見つけることができました。貴重な遊ぶ時間を削って持ち主探しをしてくれたその子たちに感謝するとともに、子供たちの優しい気持ちに触れることができうれしくなったことを覚えています。

また、全校遊びでドッジビーをした時、フリスビーをとった男子が低学年の子やあまり出番がなかった女子に渡して投げさせている場面が何度もありました。縦割り・男女混合でのゲームの中で、みんなで楽しむための思いやりが各チームで見られたことに、子供たちの思いやりの心が成長していることを感じました。

この2学期、子供たちの成長を感じることができたことを、また、大きな事故や不登校がなく、子供たちが毎日、元気に登校してくれたことを、校長としてとてもうれしく思っております。これも、保護者・地域の皆さまの温かいご理解とご支援の賜物と心より感謝しております。年が明けた3学期も、変わらぬご協力をお願い申し上げます。どうか皆様、良いお年をお迎えください。

参観日・懇談 ありがとうございました！

12月年の瀬を迎え、本日で2学期が終了です。学校では、学芸会を終えてから冬休みまでのこの時期は、目標を見失いがちになるため、子供たちの意識を今まで以上に学習へと向けさせ、落ち着いて生活できるように指導を続けてまいりました。そのためには、子供たちの学習意欲を高めることが大切ですので、私たち教職員は、子供たちが分かる楽しさを実感できる授業づくりに、日々、努力を重ねております。学習意欲のある子供は学力も向上することから、学習意欲と学力は密接な関連があります。

先日の参観日では、日ごろの学習の様子とその成果がみられたことと思います。ご家庭におかれましても、学習（意欲）への意識付けや生活基盤づくりのご協力をお願いいたします。



保護者アンケートのお礼

ご協力いただき、ありがとうございました。児童アンケート、教職員の学校評価を合わせて、結果を集計・分析し今後の教育活動に生かしてまいります。

小学校と高校との連携

今年も冬休み学習会において、伊達緑丘高等学校の生徒さんに採点やアドバイスなどを行っていただくボランティアをお願いしました。小学生は高校生とふれあうことで、将来の進学をイメージしたり、高校生には小さい子のことを理解してもらったりするなど、連携が深まることを期待しています。



いよいよ冬休み！できるところからやってみましょう！

- ① 親子で23日間の計画を確認しましょう。→親がつきっきりにならないためです。
- ② 1日の勉強時間を決めましょう。→「勉強したの？」と言わないためです。
- ③ 運動をさせましょう。→ストレス発散・安眠…ダラダラと生活をさせないためです。
- ④ 親子で一緒に読書や散歩をしましょう。→我が子をもっと知るためです。
- ⑤ お手伝いをさせましょう。→家族の一員としての気持ちをもたせるためです。
- ⑥ 買い物をさせましょう。→お金の大切さと使い方を体験させるためです。
- ⑦ ゲームやスマホは夜の間、預かりましょう。→「早く寝なさい」と言わないためです。
- ⑧ 食事は決まった時間にしましょう。→家族一緒に時間をとるためです。



親子の「きめごと」
アイディア集

学校運営協議会より

・授業を見て、児童と先生と溶け込んでいる感じがして、とてもいい関係が築けていると思った。授業の中で子供たちの気持ちを拾ってほしい。

・アンケートの結果で、「自分にはよいところがある」と答えた児童の割合が90%以上いることは素晴らしい。

・学校の統合については、児童数の減少など、実態を考えるとやむを得ないと思う。保護者が安心して通わせることができ、児童が安全に学校に通えるような環境を、しっかりと整えてほしい。保護者の不安もたくさんあると思うが、そうした不安を取り除きながら、丁寧に進めてほしい。

子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

- ・いじめられている…
 - ・学校に行きたいのに行けない…
 - ・誰かに聞いてほしい…
- そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談

☎ 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談をご利用してください。

※ ご家族みなさんにとって、よい思い出ができる冬休みになることを願っています。事故・事例は学校(23-3709)。

※ 不審者情報は110番だと最も早く警察がかけつけます。